

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公表番号】特表2002-536989(P2002-536989A)

【公表日】平成14年11月5日(2002.11.5)

【出願番号】特願2000-601127(P2000-601127)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
C 07 K	14/705	(2006.01)
C 07 K	16/28	(2006.01)
G 01 N	33/15	(2006.01)
G 01 N	33/50	(2006.01)
G 01 N	33/566	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
C 07 K	14/705	
C 07 K	16/28	
G 01 N	33/15	Z
G 01 N	33/50	Z
G 01 N	33/566	
C 12 N	5/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月16日(2007.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号：3又は配列番号：4のアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードするヌクレオチドを含む、単離されたDNA。

【請求項2】配列番号：1、配列番号：1の1～1,194位、配列番号：2、及び配列番号：2の61～1,245位からなる群より選択されるヌクレオチド配列を含む、請求項1のDNA分子。

【請求項3】請求項1のDNAと高ストリンジエンシー条件下でハイブリダイズするDNA分子。

【請求項4】請求項1のDNAを含む発現ベクター。

【請求項5】請求項1のDNAを含む組換え宿主細胞。

【請求項6】配列番号：3又は配列番号：4のアミノ酸配列を有するGPR54タンパク質を含む単離されたポリペプチド。

【請求項7】他のタンパク質を実質的に含まない、請求項6の単離されたポリペプチド。

【請求項8】単一のアミノ酸置換を含有する、請求項6の単離されたポリペプチド。

【請求項9】保存的であり、かつGPR54とラットのGALR1、GALR2又はGALR3受容体とが同じアミノ酸を有している位置ではない位置でのアミノ酸置換を2個以上含有する、請求項6の単離されたポリペプチド。

【請求項 10】 (a) G P R 5 4 をコードする発現ベクターを細胞にトランスフェクトすること、

(b) G P R 5 4 を発現させるために十分な時間、トランスフェクトされた細胞を増殖させること、

(c) 物質の存在下及び非存在下で、G P R 5 4 の標識リガンドに細胞を曝すこと、

(d) 前記標識リガンドとG P R 5 4との結合を測定すること、

ここにおいて、前記物質の存在下の方が、前記物質の非存在下よりも前記標識リガンドの結合量が少ない場合に、前記物質はG P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであり、G P R 5 4 は配列番号：3又は配列番号：4のアミノ酸配列を有する、

を含む、物質がG P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであるか否かを決定するための方法。

【請求項 11】 (a) 細胞内でG P R 5 4 の発現を指示する発現ベクターを細胞にトランスフェクトすることにより、試験細胞を準備すること、

(b) 前記試験細胞を物質に曝すこと、

(c) 前記物質と前記試験細胞中のG P R 5 4との結合量を測定すること、

(d) 前記物質と前記試験細胞中のG P R 5 4との結合量と、前記物質とG P R 5 4 でトランスフェクトされていない対照細胞との結合量とを比較すること、

ここにおいて、前記対照細胞と比較して前記試験細胞の方が前記物質の結合量が多い場合に、前記物質はG P R 5 4 への結合能を有し、G P R 5 4 は配列番号：3又は配列番号：4のアミノ酸配列を有する、

を含む、ある物質がG P R 5 4 との結合能を有するか否かを決定するための方法。

【請求項 12】 (a) 細胞内でG P R 5 4 の発現を指示する発現ベクターを細胞にトランスフェクトすることにより、試験細胞を準備すること、

(b) 前記試験細胞を、G P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであると推測される物質に曝すこと、

(c) 前記物質に曝された前記試験細胞の機能的応答の量を測定すること、

(d) 前記試験細胞により示された機能的応答の量と、前記対照細胞により示された機能的応答の量とを比較すること、

ここにおいて、前記試験細胞により示された機能的応答の量が、前記対照細胞により示された機能的応答の量と異なっている場合に、前記物質がG P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであり、

前記対照細胞は、G P R 5 4 でトランスフェクトされていないが前記物質に曝された細胞、又は前記物質に曝されていない前記試験細胞であり、

G P R 5 4 は配列番号：3又は配列番号：4のアミノ酸配列を有する、
を含む、G P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストを同定するための方法。

【請求項 13】 G P R 5 4 と特異的に結合する抗体であって、ここでG P R 5 4 は配列番号：3又は配列番号：4のアミノ酸配列を有する、前記抗体。